

2026.5.26

尼崎市総合計画審議会
第5回総会

資料第1号

後期計画策定に向けた検討状況について

尼崎市 都市政策課

本日の趣旨

- 後期計画の策定に向けて、
①全体スケジュール、②策定コンセプト、③骨子、④施策体系、⑤分科会設置の現段階の案について、庁内会議等で検討をすすめてきた。
本日は、これらの案について、ご確認・ご意見をいただきたい。
- また、これまでの市長・副市長を交えた庁内会議での議論を行う中で得られた、
「後期計画策定に向けた考え方」について共有し、「まちづくりの総合指標」
や「主要取組項目」などのより上位のまちづくりのビジョンについて検討をすすめるため、**今後の方向性などについて意見交換**を行いたい。

タイムテーブル

(次第)

1. 後期計画策定に向けた検討状況について……18 : 30～19 : 30
①全体スケジュール、②策定コンセプト、③骨子
④施策体系案、⑤分科会設置案
2. 後期計画策定に向けた考え方について……………19 : 30～20 : 30
意見交換

タイムテーブル

(次第)

1. 後期計画策定に向けた検討状況について……18：30～19：30
①全体スケジュール、②策定コンセプト、③骨子
④施策体系案、⑤分科会設置案
2. 後期計画策定に向けた考え方について……19：30～20：30
意見交換

全体スケジュール

	R 7	令和 8 年度										R 9 年度
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～3月	4～6月
総会	令和 8 年 3 月 後期計画 諮問											
専門部会												
市民・有識部会												
分科会 (第1～第3分科会)												
ひと咲き会議・PTなど												
市議会 (総務委員協議会)												
検討が必要な項目など												

令和 8 年 3 月
後期計画
諮問

点検報告書を基に案作成

庁内での検討状況を適宜、
審議会（総会等）にて報告・審議

12 月
素案策定

パブリックコメント

令和 9 年 5 月
後期計画
答申

令和 9 年 6 月
後期計画
議決

各論ページの検討

各施策を3つの分科会に分け、
施策別の取組ページについて議論

施策評価
プレゼン

進捗報告

進捗報告

進捗報告

パブコメ前の
素案確認

パブコメ結果を
踏まえた計画案

答申について

策定コンセプト・骨子
・施策体系
・各論ページのたたき台

各論ページの検討
(分科会結果の反映)

主要取組項目
・その他

素案確定

パブコメ結果の反映など

- ・ **7月の分科会**までに、**骨子・施策体系・各論ページのたたき台**を作成し、分科会にて議論を行う。
- ・ **12月中に素案確定**。1月中に**パブリックコメント**を予定

後期計画のコンセプト（案）

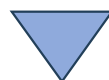
後期計画の策定コンセプト

①前期計画を基調とした見直し

前期計画の方向性や施策体系を基本としつつ、策定後に見えてきた**課題や改善点を踏まえて、計画全体をアップデート**させる。

②ロジックモデルによる評価手法の導入

ロジックモデルを導入し、**施策が上位目標にどのようにつながるかを明確化し、あわせて、その考え方に基づいた行政評価の仕組みの構築を推進**



コンセプトに沿って今後検討

<主な検討事項>

施策体系、各種指標（総合指標や各施策の代表指標）やロジックモデル、主要取組項目、各論ページの内容 など

第6次総合計画・後期計画の骨子（案）

第6次総合計画・後期計画（2028-）骨子案

議決対象

■はじめに

- ・総合計画の考え方
- ・総合計画の構成と期間
- ・後期まちづくり基本計画の策定
- ・後期計画に盛り込むべき新たな論点（点検結果から）
 - ・前期計画策定以降の社会の変化（デジタル化の進展、外国籍住民増加・・・）

■まちづくり基本計画

- ・まちづくりの推進に向けて
 - EBPMに基づく行政評価（ロジックモデル）
 - 施策間連携（見直し検討）
- ・まちづくりの総合指標（見直し検討）
- ・施策体系（見直し検討）
- ・主要取組項目（見直し検討）
- ・施策別の取組（各論）（記載内容のアップデート）
- ・行政運営（記載内容のアップデート）

■資料編

- ・まちづくり構想
- ・人口推計、用語解説、SDGsなど

後期計画は、

- ・「第5次総合計画・後期計画」の構成を基本とし、
- ・「第6次総合計画・前期計画」の内容をアップデートさせる

- ・昨年度に行った現計画の点検結果をもとに、社会情勢の変化など、後期計画に盛り込むべき論点を反映

（デジタル化の進展に伴う社会課題への対応、外国籍住民の増加に伴う対応、ロジックモデル...など）

- ・施策間連携のあり方について見直しを検討

- ・令和14年度までの「まちづくり構想」は、「資料編」に掲載

施策体系の見直し案

施策体系については、現計画の体系を基本としながら、以下の2点について見直しを行う。

1. 「施策13 都市機能・住環境」における「公営企業局」の位置づけ

(対応案) 施策13の展開方向の1つに位置付ける
後期計画において、施策13の展開方向(4)を新設し、
公営企業局の施策評価を実施する方向で
今後調整を進める。

13 都市機能・住環境

- (1) エリアブランディングの推進
- (2) 豊かな住生活の実現
- (3) 良好な都市環境の整備
- (4) 仮) 上下水道の安定利用

2. 「DX」の位置づけ

(対応案) 「行政運営4 DX」の新設と行政運営の位置づけの明確化

DXを行政運営の新たな柱として位置づけるとともに、概念図を用いて、
行政運営が全施策の基盤であることを明確化する。

行政運営4
【DX】

- (1) 仮) 市民サービスの向上
- (2) 仮) 業務効率化

後期計画の概念図（総合指標～主要取組項目～施策別の取組～行政運営）

まちづくり構想

ありたいまち

まちづくり基本計画

○行政運営の位置づけの明確化

各施策を下支えし、全施策の基盤となる施策として概念図で明確に位置付ける

総合指標

ファミリー世帯
の転出超過数

市民参画指数

住んで良かった

主要取組項目

子ども
・教育

生きがい・
ささえあい

脱炭素・
経済活性

魅力向上・
発信

施策別の取組（各論）

施策
1

施策
2

施策
3

.....

施策
11

施策
12

施策
13

行政運営

行政運営 1 【協働】

行政運営 2 【人材育成・組織体制】

行政運営 3 【行財政】

行政運営 4 【DX】

各施策を下支えし、全施策の基盤となって
市民の利便性向上と行政運営の効率性・効果性の向上等を図る

ロジックモデルの検討・導入

アップデート
・項目の選定と
考え方
・指標

アップデート
・施策体系
・各施策の
展開方向、指標

DXを
独立

施策体系・展開方向の修正案 (庁内議論後の案)

施策	展開方向	
01 地域コミュニティ・学び	(1) 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進 (2) まちの魅力を高める文化芸術活動の推進 (3) 歴史遺産の継承と学びの充実 (4) スポーツに親しむ機会の充実	主：地協局
02 人権尊重・多文化共生	(1) ジェンダー平等、その他の人権 (2) 多文化共生と平和の推進 (3) 学校園等における人権教育の推進 (4) 市職員・教職員等への人権教育の推進	主：地協局
03 学校教育	(1) 確かな学力の保証と健やかな体づくり (2) 個に寄り添った教育の推進 (3) 他者とつながる学校園づくり (4) 良好な教育環境の確保	主：教育
04 子ども・子育て支援	(1) 安全に安心して産み育てることができる環境づくり (2) 子育てと仕事の調和の実現に向けた環境づくり (3) すべての子どもが健やかに育つ環境づくり (4) 子どもたちの生きる力をはぐくむ環境づくり	主：こ青局
05 地域福祉	(1) 「ささえあい」をはぐくむづくり・多様な主体の参画と協働による地域づくり (2) 誰もが安心できる暮らしを支える基盤づくり	主：福祉局
06 障害者支援	(1) 必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくり (2) 生きがいを持って自分らしく暮らすことができる環境づくり (3) ともに支えあい、安心して暮らすことができる環境づくり	主：福祉局
07 高齢者支援	(1) 介護予防の取組や認知症施策の推進 (2) 高齢者の社会参加の促進や介護サービスの基盤づくり	主：福祉局
08 健康支援	(1) 生活習慣病予防対策 (2) 地域や団体等と取り組む健康づくり (3) 健康で安全・安心な暮らしを確保するための体制の充実	主：保健局

施策	展開方向	
09 生活安全	(1) 防犯、交通安全、消費生活での安心感の醸成 (2) 自転車のまちづくりの推進 (3) ルール遵守やマナー向上	主：危機局
10 消防・防災	(1) 消防力の充実 (2) 地域防災力の向上	主：危機局
11 地域経済・雇用就労	(1) イノベーションの促進に向けた環境づくり (2) 地域経済の活性化や循環の促進 (3) 雇用就労の充実 (4) 観光振興による地域経済の活性化と魅力向上	主：経環局
12 環境保全・創造	(1) 脱炭素社会の形成 (2) 循環型社会の形成 (3) 環境の保全	主：経環局
13 都市機能・住環境	(1) エリアブランディングの推進 (2) 豊かな住生活の実現 (3) 良好な都市環境の整備 (4) 上下水道の安定利用 新設	主：都整局
行政運営 1 【協働】	(1) 市民の市制参画と情報の共有・発信 (2) さらなる協働のまちづくりの推進	主：地協局
行政運営 2 【人材育成・組織体制】	(1) 職員の資質向上とワーク・ライフ・バランスの実現 (2) 本市DXの推進と最適な業務執行体制の構築	主：総務局
行政運営 3 【行財政】	(1) 安定的な財政運営の推進 (2) 公平・公正な負担に向けた債権管理の適正化 (3) 公共施設マネジメントの着実な推進	主：企財局
新設 行政運営 4 【DX】	(1) 仮) 市民サービスの向上 (2) 仮) 業務効率化	主：デジ局

分離・新設

分科会の設置（案）

	第1分科会	第2分科会	第3分科会
所管する施策分野	地域コミュニティ・学び	地域福祉	生活安全
	人権尊重・多文化共生	障害者支援	消防・防災
	学校教育	高齢者支援	地域経済・雇用就労
	子ども・子育て支援	健康支援	環境保全・創造
			都市機能・住環境
	行政運営 1【協働】	行政運営 2【人材育成・組織体制】	行政運営 3【行財政】
		行政運営 4【DX】	
委員名	久 隆浩（学識）	三宅 由佳（学識）	○ 青田 良介（学識）
	武本 夕香子（学識）	八木 麻理子（学識）	室崎 千重（学識）
	○ 堀田 博史（学識）	八木 絵香（学識）	関 智宏（学識）
	猪田 裕子（学識）	笹嶋 宗彦（学識）	花田 眞理子（学識）
	大江 篤（有識）	○ 松原 一郎（有識）	潮 成之介（有識）
	小森 準平（有識）	重松 香会子（有識）	藤嶋 純子（有識）
	原田 伊織（市民）	大永 尉恵（市民）	岩崎 邦雄（市民）
	関 由梨（市民）	藤本 由紀（市民）	坂本 夏音（市民）

○は分科会長。肩書・敬称略

タイムテーブル

(次第)

1. 後期計画策定に向けた検討状況について……18 : 30～19 : 30
①全体スケジュール、②策定コンセプト、③骨子
④施策体系案、⑤分科会設置案
2. 後期計画策定に向けた考え方について……19 : 30～20 : 30
意見交換

後期計画へ反映を検討する主なテーマ・キーワード

これまでの施策評価での議論から得られた以下のエッセンスを
総合指標や主要取組項目などのより上位のまちづくりのビジョンに反映することを検討する

前期計画の方向性

都市の体質転換

スクラップ&ビルド

ファミリー世帯の
定住・転入促進

都市間競争

施設の量と質の最適化

協働のまちづくり

まちが目指す方向性

- ・ 課題克服だけでなく、尼崎の強みを更に伸ばす時代へ
- ・ 豊かなあまがさきを目指す（豊かとはなにか）
- ・ それぞれの立場で、いかに自分らしく希望をもって生きるか（属性やライフスタイル・ライフステージ）



次のステージへ

まちの魅力を生かす

- ・ 負担軽減によりすぎない、まちの強みを生かしたライフスタイルの提案（子育て支援など）
- ・ 若年の単身・二人世帯に選ばれるまち・広域での尼崎の役割
- ・ 市内のエリアごとの成り立ちや特色を踏まえたまちづくり



行政のあり方

- ・ ボーダーレスな公共施設（多様な人が使える、関わる仕掛け・デザイン）
- ・ プラットフォーマーとしての行政の役割（方向性や価値観を示す）
- ・ 公民連携の多様なあり方